

日 銀 決 第 2 3 号
2 0 2 5 年 8 月 2 9 日

本店管下オンライン取引先 御中

日 本 銀 行

日本銀行金融ネットワークシステムの ISO20022 電文バージョン改訂に伴う
本番移行にかかる正当性の確認のための走行確認試験の実施について

日本銀行金融ネットワークシステム（以下、「日銀ネット」といいます。）では、
2025 年 11 月 25 日（火）を実施予定日として、外国為替円決済および日本銀行
が外国中央銀行等のために受入を行う預り金（以下、「海外預り金」といいます。）
関係の当座勘定取引に利用している ISO20022 電文を、バージョン 8（2019 年バ
ージョン）に改訂します。

日本銀行では、実施予定日に先立ち、日銀ネットにおけるバージョン 8 への本
番移行に際して、実施予定日を万全の態勢で迎える観点から、11 月 23 日（日）
に移行の正当性について最終確認を行う走行確認試験を実施することとしまし
た。参加対象先は、外国為替円決済制度加盟銀行および海外預り金関係の取引を
実施する当座勘定取引先です。当該先のコンピュータ（CPU）接続先におかれては、
本番業務への影響がない範囲で可能な限り参加いただきますよう、お願い申し
上げます。

また、日銀ネット端末のファイルアップロード・ダウンロード（ULDL）機能を
利用する先についても必要に応じてご参加いただくことも可能ですが、日銀ネ
ット端末での打鍵入力のみを行う先は対象外といたします。

ついては、本日、「日本銀行金融ネットワークシステムの ISO20022 電文バージ
ョン改訂に伴う走行確認試験実施要領・手順書」（別添。以下「要領・手順書」
といいます。）について、全国銀行協会外国為替円決済制度管理室から外国為替
円決済制度加盟銀行に配付するとともに、業務オンラインに掲載します。

なお、要領・手順書に記載のとおり、試験の参加有無について、所定の参加調
査票に記入のうえ、9 月 24 日（水）までに日本銀行宛てにご提出いただく必要

がありますので、念の為申し添えます。

以 上

【本件に関する照会先】

日本銀行 決済機構局 決済システム課 決済企画・調査グループ

電子メール：post.pssd57@boj.or.jp

※ 電子メールの件名は、「走行確認試験に関する件」と記載してください。

電話：03-3277-1602、03-3277-1021、03-3277-2642

別 添
2025 年 8 月
日 本 銀 行

日本銀行金融ネットワークシステムの
ISO20022 電文バージョン改訂に伴う
走行確認試験実施要領・手順書

<照会先>

本試験全般にかかる照会(試験当日前)

日本銀行決済機構局 決済システム課 決済企画・調査グループ

電話番号:03-3277-1602、03-3277-2642、03-3277-3546

メール:post.pssd57@boj.or.jp

試験当日の照会

<試験全般に関する照会>

日本銀行決済機構局 決済システム課 決済企画・調査グループ

電話番号:03-3277-1602、03-3277-2642、03-3277-3546

<システム面に関する照会>

① CPU 接続(疎通確認処理を含む)に関する照会

日本銀行システム情報局 日銀ネット構築運行課 対外接続基盤グループ(CPU 接続担当)

電話番号:042-351-1127

② 日銀ネット端末に関する照会

日本銀行システム情報局 日銀ネット構築運行課 対外接続基盤グループ(日銀ネット端末担当)

電話番号:042-351-1247

③ 上記①②以外の照会

日本銀行システム情報局 業務システム開発課

電話番号:042-351-1161

I. 概要

1. 目的

- 日本銀行金融ネットワークシステム(以下、「日銀ネット」といいます。)では、2025 年 11 月 25 日(火)を実施予定日として、外国為替円決済および日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金(以下、「海外預り金」といいます。)関係の当座勘定取引に利用している ISO20022 電文を、バージョン8(2019 年バージョン)¹に改訂します²。
- 本試験においては、実施予定日直前の週末において、日銀ネットにおけるバージョン8への本番移行の正当性について最終確認を行ったうえで、実施予定日を迎えることを目的とします。

2. 試験日・実施時間帯

2025 年 11 月 23 日(日)9:00～12:00

—— 万が一、試験を予定通り実施できない事情等が判明した場合には、試験の実施時間までに参加調査票で登録いただいたメールアドレス宛に一斉連絡します。

3. 参加対象

- 以下の日銀ネット利用先のうち、原則、コンピュータ(CPU)接続先を対象とします。なお、日銀ネット端末のファイルアップロード・ダウンロード(ULDL)機能を利用する先についても必要に応じてご参加いただくことも可能です。但し、日銀ネット端末での打鍵入力のみを行う先は対象外とします。
- CPU 接続先による BCP 等の観点での ULDL 機能による参加も推奨いたします。

¹ CBPR+ Standard Release 2023 年版(ベース電文:2019 年バージョン)に原則準拠。

² 2025 年 2 月 28 日付「日銀ネットで利用する ISO20022 電文のバージョン改訂の実施予定日について」参照。

【URL】https://www.boj.or.jp/paym/bojnet/net_forum/nfo250228a.pdf

—— ULDL 機能の利用の際にはマニュアルによる処理負担が相対的に大きいことを踏まえ、円滑な試験運行の観点から、システムやオペレーションにかかる主要な関連部署(システム運行部署や業務部署など)の参加や、各部署における平日と同等の出勤体制の確保にご協力ください。

① 外国為替円決済制度加盟銀行および CLS 銀行

—— 決済制度事務委託銀行は対象外とします。

② 海外預り金関係事務を実施する先

- 参加は任意ですが、極力、業務電文の送信を含むかたちで積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、本試験によって変動した各種残高や CPU 接続先における処理通番等が、翌営業日以降の本番業務に一切影響を与えないよう、十分ご留意いただいたうえでご参加いただくようお願い致します。

4. 試験内容

(1) 業務電文を送信可能な先

- 後述の「実施手順 IV. 1.」に沿って、試験参加先が日銀ネットへ業務電文(CUSTOMER TRANSFER、BANK TRANSFER 等)を正常に送信できることを確認します。また、当該送信に伴い出力される電文を受信できることを確認します。

—— 通常業務において使用していない業務電文を送信する手順については、適宜実施を省略することで差し支えありません。その場合、試験運行上の観点から、事前に「日本銀行金融ネットワークシステムの ISO20022 電文バージョン改訂に伴う走行確認試験 参加調査票」にて実施対象外とする手順を申し出てください。

- 日銀ネットにおける資金系 ISO20022 電文の電文長制限値の引上げに伴い、可能な場合、10KB を超える電文送信にもご協力ください。

(2) 疎通確認処理のみを実施する先(業務電文を送信しない CPU 接続先)

- 移行時におけるシステム環境において、業務電文の送信をしない CPU 接続先のうち、疎通確認のみを希望される場合は、日本銀行メインセンターと利用先メインサイト間の「疎通確認処理(注)」を実施して下さい。なお、本試験では日本銀行メインセンターと利用先メインサイト間以外の疎通確認の実施は想定しておりません。実施にあたっては、後述の「実施手順 IV. 2.」もご参照ください。

(注)疎通確認処理の詳細は「日銀ネット・コンピュータ接続仕様書 P5.3-36 疎通確認処理」を参照してください。

(3) 業務電文を送信する CPU 接続先のうち、戻し後の疎通確認を実施する先

- CPU 接続先において走行確認試験終了後に戻し後疎通確認をご希望される場合は、「日本銀行金融ネットワークシステムの ISO20022 電文バージョン改訂に伴う走行確認試験 参加調査票」にて事前に申し出てください。実施にあたっては、後述の「実施手順 IV. 2.」もご参照ください。

II. 試験環境等

項目	内容
試験環境	日銀ネットの本番環境
試験日時	2025 年 11 月 23 日(日)9 時～12 時
試験運用日付	2025 年 11 月 25 日(火)
各種残高等	下記基準日における業務終了時点の日銀ネットのシステム環境(各種残高、受信コード設定等)をもとに、日本銀行内で上記の試験運用日付まで日廻し運行を行います。その過程で各種残高に異動が生じる可能性があります。また、当座勘定の通常口に対して原則一律 10 兆円の積み増しを行います。各種残高を把握する必要がある場合は、試験開始時に各業務の残高照会機能を用いて把握してください。
基準日	2025 年 11 月 21 日(金)
入力時間帯	業務電文(送信電文／照会上り電文)は、試験時間帯はいつでも送信可能です(疎通確認処理にかかる電文も同様)。
自動処理	当座勘定(同時決済口)における多者間同時決済処理および自動取消(※)は実施しません。 (※)当座勘定(同時決済口)待機中データの自動取消および当座勘定(同時決済口)残高の当座勘定への自動振替や、当営業日を受払日とする国債資金同時受渡依頼の自動取消、等。
接続方法等	試験当日は、CPU 接続および日銀ネット端末を利用可能です。また、送信電文の決済状況を確認する等の目的により、照会データダウンロード機能を利用することも可能です。 ＜CPU 接続＞ 利用先の本番環境メインサイトから日本銀行の本番環境メインセンターへ接続します。 ＜日銀ネット端末＞ 「メインセンタ」アイコンから日銀ネットへ接続します。接続する際はテスト用端末認証装置およびテスト用権限者カードを使用します。
CPU接続先における EX 一方通知電文の出力先	2025 年 11 月 25 日(火)の業務開始時点の設定と同一となります。
備考	<u>翌営業日以降の日銀ネットの本番利用に一切影響を与えない環境を用意してください。また、試験で送受信したデータは本番データと混同しないようご注意ください。</u>

III. 利用手順等

(1) CPU 接続を利用する場合

- 利用手順は別紙1をご確認ください。
- IORおよびCORBA制御データ中に設定する項目(金融機関等店舗コード、CPU接続制御コード、ロジカルパス番号等)は、「試験環境等」に記載の運用日付を基準とし「システム構築用調査表」の内容のとおり設定してください。試験環境において、当該項目の内容の変更を希望する場合には、冒頭に記載の＜照会先＞にご相談ください。

(2) 日銀ネット端末を利用する場合

- 利用手順は別紙2をご確認ください。
- 試験実施にあたっての事前準備と留意事項は別紙3をご確認ください。また、必要に応じて走行試験事前準備チェックリスト(別添1)をご活用ください。
- ULDL 機能の利用にあたっては、別途配布している「ファイルアップロード・ダウンロード機能説明書」も合わせてご確認ください。

IV. 実施手順

1. 業務電文を送信可能な試験参加先

>>> 試験実施手順に関する留意点: 必ずお読みください <<<

- ・ 業務電文を送信する試験参加先のうち、外国為替円決済関係事務を対象とする先は、手順書 ID のうち冒頭に「外」が付されているもの、海外預り金関係事務を対象とする先は、手順書 ID のうち冒頭に「海」が付されているものを送信してください。なお、通常業務で使用していない業務電文を送信する手順については、事前に「日本銀行金融ネットワークシステムの ISO20022 電文バージョン改訂に伴う走行確認試験 参加調査票」に申し出た上で、適宜実施を省略することで差し支えありません。
- ・ 試験参加先が送信する電文に設定する入力値は本項記載のとおりですが、記載のない項目にかかる入力値は、「メッセージフォーマット仕様書(コア機能・業務データ編)」^(注1)の別紙3メッセージフォーマット、CBPR+ガイドラインのほか、外国為替円決済関係事務においては「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則(外国為替円決済制度関係事務)(暫定版)」^(注2)、外国為替円決済制度取扱要領(暫定版)^(注3)、海外預り金関係事務においては「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則(当座勘定取引)(暫定版)」^(注4)、日本銀行金融ネットワークシステム・金融機関等コード一覧(海外預り金勘定)および海外預り金事務における取扱いにかかる通知^(注5)に則り、適宜の値を設定してください。
- ・ 手順書 ID に記載の順番に従って電文を送信してください。手順書に記載のない電文は送信しないでください(ただし、照会データファイル取得は適宜のタイミングで実施しても問題ありません)。なお、本試験は、オンライン接続試験(固定手順試験)の手順とは内容が異なりますので、ご注意ください。
- ・ 試験実施手順欄に記載する送信内容のうち、金額に関する項目については、分かりやすさの観点から「カンマ」を付与していますが、送信時には、カンマを付与せずに送信してください。
- ・ 決済の完了を確認する場合など、必要に応じて「支払指図明細」(274201)もしくは「受払明細」(214202、254201)により明細を確認してください。手順は本項末尾に記載しています。

(注1) 日銀シス第 37 号(2024 年 3 月 29 日に日本銀行 HP「業務上の事務連絡」に掲載)および日銀シス第 20 号(2025 年 2 月 28 日に本行 HP「業務上の事務連絡」に掲載)において公表した「メッセージフォーマット仕様書(コア機能・業務データ編)」

(注2) 2025 外参第 25 号(2025 年 6 月 23 日に全銀協より各行に通知)において公表した「別添3「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則(外国為替円決済制度関係事務)」中一部改正」

(注3) 2024 外参第 35 号(2024 年 9 月 6 日に全銀協より各行に通知)において公表した「外国為替円決済制度取扱要領の改正案(暫定版)」
(<https://www.zenginkyo.or.jp/limited/tba-fxycs/>)

(注4) 日銀シス第 183 号(2025 年 6 月 6 日に日本銀行より各行に通知)において公表した「別紙 1「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則(当座勘定取引)」中一部改正」

(注5) 日銀業第 180 号(2024 年 3 月 29 日に日本銀行 HP「業務上の事務連絡」に掲載)において公表した「日本銀行が外国中央銀行等のために受入を行う預り金に関する事務における日銀ネット電文の入力・設定内容等について」(<https://www5.boj.or.jp/kaigai/net240329a.pdf>)

手順書 ID 一覧

手順書 ID	試験実施手順記載項目	実施時刻
外送1	(当座勘定) 振替の実行	9:00～12:00
外送2	(当座勘定(同時決済口)) 振替の実行	
海送1	(当座勘定) 引落の実行	
— <実施任意>	明細の照会<適宜実施>	

確認対象電文および手順書 ID 一覧

確認対象電文			手順書 ID		
種別	業務処理区分/受信電文名	業務処理区分/帳票コード	外送 1	外送 2	海送
送信	CUSTOMER TRANSFER	273101	○		
	BANK TRANSFER	273102	○		
	CUSTOMER TRANSFER (QUEUE OFFSET)	273201		○	
	BANK TRANSFER (QUEUE OFFSET)	273202		○	
	CUSTOMER TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	213101			○
	BANK TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	213102			○
RES	ACKNOWLEDGEMENT OF CUTOMER TRANSFER	2711-00100	○		
	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANFER	2711-00300	○		
	ACKNOWLEDGEMENT OF CUTOMER TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	2116-00100			○
	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	2116-00300			○
EX 応答電文	ACKNOWLEDGEMENT OF CUTOMER TRANSFER(QUEUE OFFSET)	2712-00100		○	
	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANFER(QUEUE OFFSET)	2712-00800		○	

手順書ID: 外送1 (当座勘定)振替の実行

項番	試験実施手順	確認内容	チェック												
外送 1-1	●「CUSTOMER TRANSER」(273101)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,000,000」¥</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<BIC></td><td>JSBKJPJT^(注)</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<日銀コード></td><td>「1344」城南信金^(注)</td></tr></table> (注)BICコードと日銀コードのいずれか一方を指定してください。	AMOUNT	「1,000,000」¥	DATE	2025-11-25	INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)	INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)	・ 次の電文を受信していること。 <RES電文> <table><tr><td>帳票コード</td><td>受信電文</td></tr><tr><td>2711-00100</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 当座勘定引落通知(外国為替円支払指図)(2111-00900)	帳票コード	受信電文	2711-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER	☐
AMOUNT	「1,000,000」¥														
DATE	2025-11-25														
INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)														
INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)														
帳票コード	受信電文														
2711-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER														
外送 1-2	●「BANK TRANSER」(273102)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,000,000」¥</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<BIC></td><td>JSBKJPJT^(注)</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<日銀コード></td><td>「1344」城南信金^(注)</td></tr></table> (注)BICコードと日銀コードのいずれか一方を指定してください。	AMOUNT	「1,000,000」¥	DATE	2025-11-25	INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)	INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)	・ 次の電文を受信していること。 <RES電文> <table><tr><td>帳票コード</td><td>受信電文</td></tr><tr><td>2711-00300</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 当座勘定引落通知(外国為替円支払指図)(2111-00900)	帳票コード	受信電文	2711-00300	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER	☐
AMOUNT	「1,000,000」¥														
DATE	2025-11-25														
INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)														
INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)														
帳票コード	受信電文														
2711-00300	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER														

手順書ID:外送2 (当座勘定(同時決済口))振替の実行

項番	試験実施手順	確認内容	チェック												
外送 2-1	●「自己勘定間振替」(251401)を送信し、当座勘定から当座勘定(同時決済口)への振替を行ってください。 <table><tr><td>振替依頼区分@</td><td>「2」当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金</td></tr><tr><td>振替金額</td><td>「10,000,000」円</td></tr></table>	振替依頼区分@	「2」当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金	振替金額	「10,000,000」円	・ 次の電文を受信していること。 <RES電文> <table><tr><td>帳票コード</td><td>受信電文</td></tr><tr><td>2514-00101</td><td>自己勘定間振替済通知(当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金)</td></tr></table>	帳票コード	受信電文	2514-00101	自己勘定間振替済通知(当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金)	□				
振替依頼区分@	「2」当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金														
振替金額	「10,000,000」円														
帳票コード	受信電文														
2514-00101	自己勘定間振替済通知(当座勘定引落・当座勘定(同時決済口)入金)														
外送 2-2	●「CUSTOMER TRANSER(Queue OFFSET)」(273201)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,000,000」円</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<BIC></td><td>JSBKJPJT^(注)</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<日銀コード></td><td>「1344」城南信金^(注)</td></tr></table> (注)BICコードと日銀コードのいずれか一方を指定してください。	AMOUNT	「1,000,000」円	DATE	2025-11-25	INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)	INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)	・ 次の電文を受信していること。 <EX応答電文> <table><tr><td>帳票コード</td><td>受信電文</td></tr><tr><td>2712-00100</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (Queue OFFSET)</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 共通受付済応答(Z***-*****) ✓ 当座勘定(同時決済口)引落通知(外国為替円支払指図)(2511-01500)	帳票コード	受信電文	2712-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (Queue OFFSET)	□
AMOUNT	「1,000,000」円														
DATE	2025-11-25														
INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)														
INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)														
帳票コード	受信電文														
2712-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (Queue OFFSET)														
外送 2-3	●「BANK TRANSER(Queue OFFSET)」(273202)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,000,000」円</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<BIC></td><td>JSBKJPJT^(注)</td></tr><tr><td>INSTRUCTED AGENT<日銀コード></td><td>「1344」城南信金^(注)</td></tr></table> (注)BICコードと日銀コードのいずれか一方を指定してください。	AMOUNT	「1,000,000」円	DATE	2025-11-25	INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)	INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)	・ 次の電文を受信していること。 <EX応答電文> <table><tr><td>帳票コード</td><td>受信電文</td></tr><tr><td>2712-00800</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (Queue OFFSET)</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 共通受付済応答(Z***-*****) ✓ 当座勘定(同時決済口)引落通知(外国為替円支払指図)(2511-01500)	帳票コード	受信電文	2712-00800	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (Queue OFFSET)	□
AMOUNT	「1,000,000」円														
DATE	2025-11-25														
INSTRUCTED AGENT<BIC>	JSBKJPJT ^(注)														
INSTRUCTED AGENT<日銀コード>	「1344」城南信金 ^(注)														
帳票コード	受信電文														
2712-00800	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (Queue OFFSET)														

手順書ID:海送1 (当座勘定)振替の実行

項番	試験実施手順	確認内容	チェック								
海送 1-1	●「CUSTOMER TRANSER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」(213101)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,000,000」¥</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr></table> ● その際、次の①および②のとおり、入金先の外国中央銀行等に関する情報および口座情報を入力してください。 ①「INTERMEDIART AGENT 1」もしくは「CREDITOR AGENT」の『BICFI』または「CREDITOR」の『AnyBIC』に、入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等の BIC コードを入力^(注)してください。 ② ①に対応する「INTERMEDIARY AGENT1 ACCOUNT」、「CREDITOR AGENT ACCOUNT」または「CREDITOR ACCOUNT」の『Identification』(IBAN 以外の ID) に、入金が行われる海外預り金勘定の海外預り金勘定コードを入力してください。	AMOUNT	「1,000,000」¥	DATE	2025-11-25	・ 次の電文を受信していること。 <RES電文> <table><tr><th>帳票コード</th><th>受信電文</th></tr><tr><td>2116-00100</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 当座勘定引落通知(海外預り金)(2116-00200)	帳票コード	受信電文	2116-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	☐
AMOUNT	「1,000,000」¥										
DATE	2025-11-25										
帳票コード	受信電文										
2116-00100	ACKNOWLEDGEMENT OF CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)										
海送 1-2	●「BANK TRANSER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS) 」(213102)を送信してください。 <table><tr><td>AMOUNT</td><td>「1,500,000」¥</td></tr><tr><td>DATE</td><td>2025-11-25</td></tr></table> ● その際、次の①および②のとおり、入金先の外国中央銀行等に関する情報および口座情報を入力してください。 ①「INTERMEDIART AGENT 1」、「CREDITOR AGENT」または「CREDITOR」の『BICFI』に、入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等の BIC コードを入力^(注)してください。 ② ①に対応する「INTERMEDIARY AGENT1 ACCOUNT」、「CREDITOR AGENT ACCOUNT」または「CREDITOR ACCOUNT」の『Identification』(IBAN 以外の ID) に、入金が行われる海外預り金勘定の海外預り金勘定コードを入力してください。	AMOUNT	「1,500,000」¥	DATE	2025-11-25	・ 次の電文を受信していること。 <RES電文> <table><tr><th>帳票コード</th><th>受信電文</th></tr><tr><td>2116-00300</td><td>ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)</td></tr></table> <参考> そのほか、以下の帳票も出力します。 ✓ 当座勘定引落通知(海外預り金)(2116-00200)	帳票コード	受信電文	2116-00300	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)	☐
AMOUNT	「1,500,000」¥										
DATE	2025-11-25										
帳票コード	受信電文										
2116-00300	ACKNOWLEDGEMENT OF BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)										

(注) 日本銀行金融ネットワークシステム・金融機関等コード一覧(海外預り金勘定)に定める BIC コードから任意の先を選択してください。上位 8 桁がコード一覧(海外預り金勘定)に定める BIC コードと同一である限り、11 桁の BIC コードを入力することもできます。また、当該 BIC コードが示すものと一致したものである限りにおいて、BIC コード以外の項目(『CLEARING SYSTEM MEMBER IDENTIFICATION』、『LEI』、『NAME』、『POSTAL ADDRESS』を指します。)を合わせて入力しても差し支えないものとします。

手順書ID: ー 明細の照会<適宜実施>

送信した支払指図が決済されたことを確認する場合など、必要に応じて実施してください。

項番	試験実施手順	確認内容	チェック																																												
ー	●「支払指図明細」(274201)もしくは「受払明細」(214202、254201)等を送信してください。 以下に「支払指図明細」(274201)」及び「受払明細」(214202・254201)を送信する場合における抽出条件の例を示します。 <支払指図明細(274201)の入力例> <table><tr><td>ダウンロード区分</td><td>「1」当日分</td></tr><tr><td>取引実行日</td><td>2025-11-25^(注)</td></tr><tr><td>仕向・被仕向区分</td><td>「1」仕向</td></tr><tr><td>相手行</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>当座勘定取引通番(自)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>当座勘定取引通番(至)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>受付番号(自)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>受付番号(至)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>支払指図取引種類</td><td>設定しない</td></tr></table> (注)入力を省略することが可能です。 <受払明細(214202)> <table><tr><td>ダウンロード区分</td><td>「1」当日分</td></tr><tr><td>取引実行日</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>金融機関等店舗</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>受払区分</td><td>「0」受払</td></tr><tr><td>当座勘定取引通番(自)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>当座勘定取引通番(至)</td><td>設定しない</td></tr><tr><td>相手先</td><td>設定しない</td></tr></table>	ダウンロード区分	「1」当日分	取引実行日	2025-11-25 ^(注)	仕向・被仕向区分	「1」仕向	相手行	設定しない	当座勘定取引通番(自)	設定しない	当座勘定取引通番(至)	設定しない	受付番号(自)	設定しない	受付番号(至)	設定しない	支払指図取引種類	設定しない	ダウンロード区分	「1」当日分	取引実行日	設定しない	金融機関等店舗	設定しない	受払区分	「0」受払	当座勘定取引通番(自)	設定しない	当座勘定取引通番(至)	設定しない	相手先	設定しない	・以下のデータファイルを受信していること。 ・受信したデータファイルにより、決済が完了したことを確認すること。 (「支払指図明細」(274201)を送信した場合) <データファイル(CSV ファイル)> <table><tr><td>ファイル名</td><td>データファイルの内容</td></tr><tr><td>274201.csv</td><td>照会時点の支払指図明細</td></tr></table> (「受払明細」(214202)を送信した場合) <データファイル(CSV ファイル)> <table><tr><td>ファイル名</td><td>データファイルの内容</td></tr><tr><td>214202.csv</td><td>照会時点の受払明細</td></tr></table> (「受払明細」(254201)を送信した場合) <データファイル(CSV ファイル)> <table><tr><td>ファイル名</td><td>データファイルの内容</td></tr><tr><td>254201.csv</td><td>照会時点の受払明細</td></tr></table>	ファイル名	データファイルの内容	274201.csv	照会時点の支払指図明細	ファイル名	データファイルの内容	214202.csv	照会時点の受払明細	ファイル名	データファイルの内容	254201.csv	照会時点の受払明細	□
ダウンロード区分	「1」当日分																																														
取引実行日	2025-11-25 ^(注)																																														
仕向・被仕向区分	「1」仕向																																														
相手行	設定しない																																														
当座勘定取引通番(自)	設定しない																																														
当座勘定取引通番(至)	設定しない																																														
受付番号(自)	設定しない																																														
受付番号(至)	設定しない																																														
支払指図取引種類	設定しない																																														
ダウンロード区分	「1」当日分																																														
取引実行日	設定しない																																														
金融機関等店舗	設定しない																																														
受払区分	「0」受払																																														
当座勘定取引通番(自)	設定しない																																														
当座勘定取引通番(至)	設定しない																																														
相手先	設定しない																																														
ファイル名	データファイルの内容																																														
274201.csv	照会時点の支払指図明細																																														
ファイル名	データファイルの内容																																														
214202.csv	照会時点の受払明細																																														
ファイル名	データファイルの内容																																														
254201.csv	照会時点の受払明細																																														

	<受払明細(254201)>			
	取引実行日	設定しない		
	金融機関等店舗	設定しない		
	受払区分	「2」払出		
	決済状況区分	「1」決済済		
	当座勘定取引通番(自)	設定しない		
	当座勘定取引通番(至)	設定しない		
	受付番号(自)	設定しない		
	受付番号(至)	設定しない		
	相手先	設定しない		

2. 疎通確認処理を実施する試験参加先³

- 疎通確認処理は、あらかじめ参加調査票(別紙4)で届け出ていただいた時間帯に、弊行と貴行間で電話連絡を取り合いながら実施します。このため、連絡用に使用する電話は、貴行のコンソール付近等、試験の状況を把握しやすい場所に設置してください。
- 疎通確認における各処理については、「日本銀行金融ネットワークシステム コンピュータ接続仕様書 P5. 3-36 (C)疎通確認処理」をご参照ください。
—— 本試験では日本銀行メインセンターと利用先メインサイト間以外の疎通確認の実施は想定しておりません。
- なお、試験終了後の疎通確認処理は、12:00 を待たずに開始可能ですので、走行確認試験が終了し次第、速やかに実施いただき、遅くとも 17:00 までに終了してください。

V. 参加申込と結果報告

1. 参加申込

- 試験参加先は、参加有無について、2025 年 9 月 24 日(水)17:00 までに、参加調査票(別紙4)を日本銀行決済機構局決済システム課決済企画・調査グループ(post.pssd57@boj.or.jp)および同・業務局総務課営業・国債業務企画グループ(post.od25@boj.or.jp)宛てにメールで提出してください。

2. 結果報告等

- 試験中に問題が発生した場合は、すみやかに弊行宛てに連絡してください(その後の手続き等については、別途ご案内します)。そのうえで、問題の有無にかかわらず、業務電文を送信した試験参加先または疎通確認処理を実施した参加先は、試験終了後には①試験に予定通り参加したこと(試験終了後の疎通確認処理を実施した先は、正常に接続されることを確認したことも含む)、②問題が発生した場合はその詳細について、日本銀行決済機構局決済システム課決済企画・調査グループ(post.pssd57@boj.or.jp)およ

³ 疎通確認処理のみを実施する試験参加先および、業務電文の送信にかかる試験を実施後に疎通確認処理を実施する先の双方を含みます。

び同・業務局総務課営業・国債業務企画グループ(post.od25@boj.or.jp)宛てにメール本文で必ずご報告ください。

以 上

走行確認試験における CPU 接続の利用手順等

項番	時刻	操作手順等	確認事項等	チェック
1	8:00 ～ 9:00	CPU 接続開始処理の実施 9:00 までに CPU 接続開始処理を完了させてください。	○ CPU 接続開始処理(～9:00)が終了していること。	☐
2	9:00 ～ 12:00	走行確認試験の実施	○ (業務電文を送信可能な先)各種電文の送受信が正常に行えること。 ○ (疎通確認処理のみを実施する先)疎通確認処理により正常に接続されること。	☐
3	12:00 以降 ^注	CPU 接続終了処理 CPU 接続終了要求電文を送信し、CPU 接続終了応答電文を受信します。	○ 当日送受信した結果(RES 電文、照会下り電文、EX 電文の受信済件数)が貴行センターの計上値と一致すること。 ○ なお、試験の内容と関係のない電文が配信される場合がありますので、ご注意ください。	☐
4		参加先システムの立下げ すべての確認作業が終わりましたら、試験環境の戻し作業およびシステムの立下げ作業を実施してください。	○ 参加先システムが正常に立下がったこと。 ○ 翌営業日に本番業務が行える環境になっていること。	☐

項番	時刻	操作手順等	確認事項等	チェック
5	17:00 まで	試験終了後の疎通確認処理(希望先のみ) 「参加調査票(別紙4)」において、本試験終了後の日本銀行メインセンターと利用先サイト間での「疎通確認処理」を希望したCPU接続先は、CPU接続終了処理の実施後、17:00までに疎通確認処理を完了してください。	<希望先のみ> ○ 日本銀行との試験終了後の疎通確認処理により正常に接続されること。	☐
6	4 また は 5 以 降	試験終了後の結果報告(全参加先) V. 2. のとおり、メールで結果をご報告ください。		☐

注1: 項番2の試験の確認作業が全て終了した場合、項番3(CPU接続終了処理)以降は、12:00を待たずに実施しても構いません。

なお、試験で使用した全てのCPU接続制御コードについて、CPU接続終了処理を行ってください。試験終了時、日本銀行からCPU接続最終通知電文は送信しません。

注2: 項番2および項番5で疎通確認処理を実施した場合には、日本銀行が正常終了を確認後、その旨を日本銀行から連絡します。

以 上

走行確認試験における日銀ネット端末の利用手順等

項番	時 刻	操作手順等	確認事項等	チェック
1	8:30 ～	日銀ネット端末等の立上げ デスクトップの「 <u>メインセンタ</u> 」のアイコンからログインしてください。	○ 日銀ネットと接続中のアイコンおよびサインオン画面が表示されること。	☐
2	9:00 ～ 12:00	走行確認試験の実施 ファイル確認試験を事前に実施の上で、走行確認試験を開始してください ^{注1} 。	○ 各種電文の送受信が正常に行えること。	☐
3	すべての確認作業終了後 ^{注2}	日銀ネット端末の立下げ すべての確認作業が終わりましたら、日銀ネット端末の立下げ作業を実施してください(当日処理終了は不要です)。 日銀ネット端末は、本試験で立ち上げた全端末装置について、インターネット一時ファイルの削除(別添2参照)を実施後に電源を切断してください。	○ 本試験で立ち上げた全端末装置について、インターネット一時ファイルの削除を実施していること。 ○ 端末装置、プリンターの電源が切断されていること。	☐
4		試験終了後の結果報告 V. 2. のとおり、メールで結果をご報告ください。		☐

注1: ファイル確認試験ではISO20022 電文の入力フィールドに関するチェックは実施できないため、入力フィールドの確認は利用先自身で確認してください。具体的には、利用先システムで作成した送信電文(XML 電文)を日本銀行より提示するXML スキーマと突合することで実施します。

注2: 項番2の試験の確認作業が全て終了した場合、項番3(日銀ネット端末の立下げ)は、12:00 を待たずに実施しても構いません。

以 上

日銀ネット端末を使用する際の事前準備および試験当日の留意事項

1. 試験実施日までに行う作業

(1) テスト用端末認証装置およびテスト用権限者カード等の確認

試験参加先で保管しているテスト用端末認証装置およびテスト用権限者カード(日本銀行から貸与を受けており、試験で使用する予定の全枚数)の所在を確認しておいてください。

また、テスト用権限者カードのIDを予め確認しておいてください(IDは権限者カード発行済通知に記載されたID番号の先頭の「A」を除いた数字3桁です)。

なお、試験当日以外に使用しないでください。

(2) 試験実施端末の確認

試験当日の日銀ネット端末等のトラブルに備え、Windows のログインID「administrator」のパスワードおよび「日銀ネット端末システム用セットアッププログラム⁴」をお手元にご準備ください。

通常、電源を投入していない日銀ネット端末を試験で使用する場合、必ずウイルス対策ソフトの定義ファイルを「セキュリティの更新」により更新し、日銀ネット端末装置内の全てのハードディスクに対してコンピュータウイルスの有無を調査し、コンピュータウイルスが無い状態で利用してください。なお、バックアップ拠点などで、長期間、日銀ネット端末の電源を投入していない場合には、ウイルス対策ソフトのウイルス定義ファイルの更新作業に長時間を要しますので、試験前日までの間に必ずウイルス定義ファイルの更新作業およびウイルスチェックを実施しておいてください。

また、通常、電源を投入していない端末装置を試験で使用する場合、事前にメインセンターとの疎通確認(「サインオン」画面が表示されていることの確認)を営業日に実施してください。疎通が取れない場合は、以下の照会窓口(※)にご連絡ください。

(※) 日本銀行システム情報局 日銀ネット構築運行課 対外接続基盤グループ(日銀ネット端末担当)

電話番号 042-351-1247(直通) (対応時間:営業日 10:00~17:00)

⁴ デスクトップ上の運用管理アイコンの「日銀ネット端末セットアッププログラム等のダウンロード」-「2. ダウンロード手順等」-「○新規セットアップ手順(運用手順を含む)」に掲載。

(3) 消耗品の補給

プリンタ用紙、トナー等の消耗品は、不足が生じないように予め準備しておいてください。

2. 試験実施日に行う作業等

(1) 日銀ネット端末の立ち上げ等

日銀ネット端末の立上げおよび立下げ作業、入出力グループや走行確認試験当日に出力される帳票の取扱い等について、(別添2)に記載しておりますので、ご確認ください。

(2) トラブル発生時の取扱い

① 通常業務で使用する端末認証装置および権限者カードを誤って使用した場合

エラーメッセージが表示されますが、特別な対応は不要です(照会先への連絡は不要です。)

また、当該端末認証装置および権限者カードは翌営業日以降の通常業務で使用していただいて結構です。

② 日銀ネット端末障害等の対応

試験実施日において、日銀ネット端末の障害やその他原因不明のシステムトラブルが発生した場合には、冒頭に記載の照会先に連絡してください。

以 上

(別添1)

走行確認試験事前準備チェックリスト

- 走行確認試験で日銀ネット端末を使用する場合に、事前に確認する事項をチェックリスト形式で記載しております。試験日の前営業日までに、準備作業に漏れがないことをご確認ください。

項番	留意事項	チェック欄
1	ファイルアップロード機能の利用にあたり、試験当日に使用するアップロードファイルが準備できていること。また、アップロードファイルに対してウイルスチェックが終了していること。	
2	端末装置のログイン ID「bojnet」および「Administrator」のパスワードを確認していること。	
3	「日銀ネット端末システム用セットアッププログラム」の Ver16 を準備していること。	
4	＜通常、電源を投入していない端末を使用する場合＞ ・ウイルス対策ソフトのウイルス定義ファイルを最新化し、ウイルスチェックが終了していること。 ・端末装置のデスクトップ上の【メインセンタ】アイコンからセンターと接続できること。	
5	「テスト用端末認証装置」および「テスト用権限者カード」を準備していること。	
6	プリンタ用紙、トナー等の消耗品について、試験当日に不足が無いよう予め準備していること。	
7	試験当日の作業拠点への入室手続等の準備ができていること。また、施設の停電や工事予定が無いことを確認していること。	

以 上

1. 日銀ネットに係る端末装置の立上げ等

(1) 端末装置の立上げ

走行確認試験時に端末装置を立ち上げる際の Windows のログインIDは通常どおり「bojnet」です。

走行確認試験では全ての端末装置を使用する必要はありません。走行確認試験において必要となる端末装置・プリンタ等を御準備ください。

(2) テスト用端末認証装置等の暗証番号等

テスト用端末認証装置等の暗証番号等は次のとおりです(注)。なお、通常業務で使用している端末認証装置(端末認証装置(障害時用)含む。)および権限者カードは、走行確認試験では使用できません。

走行確認試験当日における走行確認試験データの入力及び送信については、全てテスト用権限者カードによってサインオンしたうえで実施することとなりますので、オペレータ登録は行わないでください。

- 通常業務と同様、データの入力と送信を同一のテスト用権限者カードにより実行することはできません。入力時に使用した同カードとは別のカードによりサインオンしたうえで「送信」または「画面検証」を行ってください。

機器名	暗証番号等
① テスト用端末認証装置	・暗証番号は「testbojnet」です。
② テスト用権限者カード	・テスト用権限者カードのIDは、テスト用権限者カードの発行済通知に記載されたID番号の先頭の「A」を除いた3文字です。 ・パスワードは「testbojnet」です。

(注)

1. テスト用端末認証装置等のパスワードの変更は絶対に実施しないでください。
2. 通常業務で使用している端末認証装置及び権限者カードを誤って使用した場合にはエラーメッセージが表示されますが、特別な対応(照会先への連絡等)は不要です。翌営業日以降もそのまま通常業務で使用できます。

3. テスト用端末認証装置の暗証番号またはテスト用権限者カードのパスワードを連続で複数回誤入力した場合には、これらの番号等がロックされます。この場合は、冒頭に記載の日本銀行システム情報局（照会先）へ連絡してください。なお、テスト用端末認証装置の暗証番号がロックした場合には、速やかにロック解除できるよう「日銀ネット端末システム用セットアッププログラム」を手元に準備してください。

— テスト用端末認証装置のロック解除手順は同セットアッププログラムの「端末設定マニュアル」—「5 運用編-1」—「A.2 PKI ミドルウェア管理ツールの使用方法（端末認証装置、権限者登録カードロック解除手順）」に記載されています。

（3）入出力グループの設定内容（初期設定）について

走行確認試験で使用する入出力グループは、走行確認試験において提供するグループ番号「001」を使用してください（全てのテスト用端末認証装置、テスト用権限者カードにおいて使用可能です。）

グループ番号「001」を用いることで、走行確認試験参加先において利用可能な全ての利用業務に係る端末操作の入力を行うことができます。

また、グループ番号「001」を用いた端末操作により、走行確認試験参加先において受信可能な全ての出力帳票を受信・閲覧することができます。

走行確認試験における入出力グループの設定は、以下のとおりとなります。

グループ 番号	権限範囲	出力帳票	端末操作者	端末認証装置	指定中 グループ
001	AAAA	設定なし	全てのテスト用送信権限者	設定なし	○
301	03AA	設定なし	全てのテスト用送信権限者	設定なし	

通常業務において複数の入出力グループを設定して業務を遂行しており、今回の走行確認試験においても複数部署が参加する場合、走行確認試験当日に必要な応じて、入出力グループの設定変更を行うことが可能です。

入出力グループの設定変更を行う場合は、日銀ネット利用細則（共通事務）第1編Ⅳ. 7. をご参照ください。なお、オペレータ登録は行わないでください。

（4）走行確認試験当日に出力される帳票の取扱い

走行確認試験当日に出力される帳票は、通常業務のものと混同しないようにしてください。また、当日は走行確認試験の内容以外の帳票が出力され

る場合があります。当該帳票は適宜破棄していただいて結構です。

2. 日銀ネット端末装置の立下げ等

インターネット一時ファイルの削除(注)を実施したうえで、端末装置を立下げてください。

(注)インターネット一時ファイルの削除

走行確認試験終了後は、走行確認試験当日に立ち上げた全ての端末装置について、日銀ネット端末システム用セットアッププログラム中の手順(「端末設定マニュアル」―「8 運用編-4」―「O.Internet Explorer のインターネット一時ファイルの削除手順」)をご参照のうえ、実施してください。

- ― 上記作業を失念した場合、翌営業日の端末接続時に「M246W1GE システムエラーが発生しました。」のエラーメッセージが出力され、日銀ネットが利用できなくなる場合があります。翌営業日にこのエラーメッセージが出力された場合には、上記作業を実施したうえで、再度端末接続処理を行ってください。日本銀行への連絡は不要です。

以 上

2025年 月 日

提出期限:9月24日(水)17:00

メール件名:「走行確認試験参加調査票」、Excelファイルのファイル名:金融機関名

日本銀行

決済機構局決済システム課決済企画・調査グループ

(メール:post.pssd57@boj.or.jp)

業務局総務課営業・国債業務企画グループ

(メール:post.od25@boj.or.jp)

金融機関名	
担当部署名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

日本銀行金融ネットワークシステムのISO20022電文バージョン改訂に伴う
走行確認試験 参加調査票

1-1. 参加希望(業務電文を送信可能な先)

対象事務/接続方式	参加有無 (該当する場合「○」を記入)	10KB超の電文送信 (送信する場合「○」を記入)
①外国為替円決済制度事務関係		
コンピュータ(CPU)接続		
【端末】ファイルアップロード・ダウンロード(ULDL)		
②海外預り金事務関係		
コンピュータ(CPU)接続		
【端末】ファイルアップロード・ダウンロード(ULDL)		

1-2. 参加希望(疎通確認処理のみを実施する先)

》》》業務電文を送信可能な先は回答しないでください《《《

参加有無 (該当する場合「○」を記入)	CPU制御コード (疎通確認処理を希望するコード)	実施希望時間帯 (9:00-12:00の間で回答)

1-3. 「02_実施要領・手順書(別紙1.)」に記載されている固定手順の内

通常業務で利用していない等の理由により、省略する手順がありましたら、ご回答をお願いいたします。

業務処理区分	省略する手順 (該当する場合「×」を記入)
CUSTOMER TRANSFER(273101)＜外送1＞	
BANK TRANSFER(273102)＜外送1＞	
CUSTOMER TRANSFER (QUEUE OFFSET) (273201)＜外送2＞	
BANK TRANSFER (QUEUE OFFSET) (273202)＜外送2＞	
CUSTOMER TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS) (213101)＜海送＞	
BANK TRANSFER(DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS) (213102)＜海送＞	

1-4. 試験終了時に利用先メインサイトと日本銀行メインセンターとの疎通確認処理を希望する場合には、
対象のCPU制御コードおよび、実施予定時刻をご記入ください。

実施希望有無 (希望する場合「○」を記入)	CPU制御コード (疎通確認処理を希望するコード)	実施希望時間帯 (17:00迄で回答)

2. 連絡先情報

試験担当者に係る情報①(当日の連絡先)	
担当部署名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

試験担当者に係る情報② (「疎通確認処理のみを実施する場合」または「試験終了時に疎通確認処理を希望する場合(※)」の弊社との連絡窓口) (※)「試験担当者にかかる情報①」に記載の連絡先と異なる場合のみご記載ください。	
担当部署名	
担当者名	
電話番号	
メールアドレス	

以 上